

政治・経済

(002東書・政経022・政治・経済)

担当:池田 正夫

レポート提出回数 **6**

単位数 **2**

必要面接時数 **2**

1. 学習の到達目標と取り組み

目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
目標に向けての具体的な取り組み	政治や経済の基本的な問題と人間にかかわる課題を自己の問題・課題として考察することが出来るように、現代社会における具体的な政治的・経済的な課題を新聞記事なども資料として適宜取り上げながら実施する。

2. 年間学習計画と評価方法

月	内容のまとめ(編・章)	主な学習目標と学習活動	単元・題材	レポート		スケーリング	Aテスト日と範囲	評価方法						
				回数	期限									
4月	第1章 現代の政治	日本国憲法の基本的性格と国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観し、政治と法の機能、人権保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義について理解し、民主政治の本質や現代政治の特質について探求するとともに、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治のあり方及び主権者としての賛成のあり方について考察する。	1 民主政治の基本原則 2 日本国憲法の基本原則	No.1	4/23		第1回 7/5 レポート No1~2	レポート テスト						
5月									国際政治の動向、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、わが国の防衛を含む安全保障の問題について理解し、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について探究するとともに、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察する。	3 日本の政治機構 4 現代政治の特質と課題 5 現代の国際政治	No.2	5/27	5/17	教科書 p5-98
6月														
7月	貿易の意義と国際収支の現状、為替相場の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解し、国際経済の特質について探究するとともに、国際経済における日本の役割について考察する。	3 日本経済の発展と課題 4 労働と社会保障 5 国民経済と国際経済	No.4	9/9	9/20	教科書 p99-180								
8月							大きな政府と小さな政府、少子高齢社会と社会保障、住民生活と地方自治、情報化の進展と市民生活、労使関係と労働市場、産業構造の変化と中小企業、消費者問題と消費者保護、公害防止と環境保全、農業と食糧問題などについて、政治と経済とを関連させて考察する。	1 日本社会の諸課題	No.5	11/5	11/15	第3回 1/17 レポート No.5~6	レポート テスト	
9月														地球環境問題、核兵器と軍縮、国際経済格差の是正と国際協力、経済摩擦と外交、人種・民族問題、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて考察する。
10月	現代社会の諸課題													
11月														
12月														
1月														
2月														
3月														

* 学習進度が早いので、注意してください。

3. 評価の観点

評価の観点	観点の内容
関心・意欲・態度	政治、経済、国際関係に対する関心を高め、平和で民主的な社会生活の実現と推進に向けて探求する態度を身につける。
思考・判断	政治、経済、国際関係にかかわる課題の特質、望ましい解決のあり方について様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断できる。
資料活用の技能・表現	資料をメディアを通して収集活用し、考察結果を様々な方法で適切に表現できる。
知識・理解	政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄を理解し、その知識を身につける。